

令和6年2月9日開催の「地下鉄8号線延伸に関する定例会」で、江東区より東京メトロへ伝えた地下鉄8号線延伸に関する地域からの意見等について、令和6年3月25日に以下のとおり東京メトロから回答があった。

地下鉄8号線延伸に関する地域からの意見等についての回答

【地下鉄8号線延伸に関する地域からの主な意見等】

(1) 延伸への期待	
◎	今後の検討の中で早期開業等に向けて、可能な限り努力していきます。
・1日でも早く地下鉄8号線（豊洲～住吉間）が実現する事を期待している。	
・地下鉄8号線の整備により、江東区の分断が早く解消されるとよい。	
・豊洲や住吉はこどもの買い物や遊べる施設があるので、乗換えなしで行けるのは本当にうれしい。	
・近くに新駅ができることはとても嬉しく楽しみであり、明るく素敵な駅にしてほしい。	
・地下鉄8号線延伸により、東西線などの混雑が緩和されることを期待している。	
・輸送障害時に、う回路の選択肢が増えるのはよい。	

(2) 駅名	
◎ ・仮称となっている駅の名称は、地域住民にとって重要なものであるため、決定にあたっては地域の声もしっかりと反映してほしい。	既設線駅名・地名（町名）及び著名建造物名等から駅名を決定しております。なお、駅名決定までのプロセスについては、今後、検討し、決定させていただきます。
◎ ・二つの中間新駅の名称は、より多くの区民の意見が反映される方法で決めていただきたい。	
・駅名は公募で決めてほしい。	
・新駅が素敵な名称になることを望む。	

(3) 駅構造全般	
◎ ・駅出入口の設置場所は、地域住民の利便性等を考慮してほしい。	各駅の出入口は 基本的には2カ所で考えております。位置についてはお客さまの利便性を考慮し、各種法令や、地上の状況、用地取得状況を踏まえて、計画していきます。
・地下鉄8号線延伸により豊洲駅の混雑が想定されるので、可能であれば駅の出入口を増やしたり、人の流れが良くなる駅構造としてほしい。	豊洲駅については、新木場方面のホームの増設とそれに伴う昇降設備の新設などを行い、混雑緩和を図れるように計画しております。 なお、出入口の増設については、現時点では具体的な計画はありませんが、貴重なご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
・東陽町駅の乗降客数の増加を見据え、出入口の増設を新線開業にあわせて計画してほしい。	東西線東陽町駅を含めて、乗り換え利便性や乗降客数を考慮し、バリアフリー整備ガイドラインに則って駅のレイアウトを計画しております。駅の出入口については、お客様の利便性を考慮し、各種法令に準拠した上で、計画していきます。
・東陽町駅について、地下鉄8号線延伸に伴う乗客の増加に耐えられるよう、バリアフリー設備を充実させてほしい。	
・東陽町駅で東西線との乗換えがスムーズにできるとよい。	
◎ ・バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した駅構造としてほしい。	駅のレイアウトについては、現在、昇降設備や改札位置等についても勘案した上で、バリアフリー整備ガイドラインに則ってレイアウトの計画をしています。
◎ ・乗換えなどが便利な駅構造にしてほしい。	

・住吉駅について、地下鉄 8 号線延伸にあわせてエレベーターを増設するなど、利便性を高めてほしい。	住吉駅については、ホームの昇降設備の増設など半蔵門線との乗換利便性を考慮して、検討しております。
・住吉駅での半蔵門線との乗換動線を工夫してほしい。	
・ホームドア設置など駅の安全対策をしっかりとお願いしたい。	ホームドアの整備などに加え、震災、浸水、火災対策などを計画しております。

(4) 運行計画等	
◎ ・住吉駅止まりではなく、錦糸町駅、押上駅まで乗換えなしで行けるよう、配慮していただけるとありがたい。	半蔵門線への乗り入れについては、現時点では具体的な運行計画はありませんが、貴重なご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
・地下鉄8号線延伸による豊洲駅の利用者増加で駅構内が混雑しないよう、電車本数等を工夫していただきたい。	豊洲駅は、2019年度時点で22万8千人の利用者がおり、朝のピーク時などはホームが大変混雑しておりました。駅の利用者数の傾向は今後も変わらないと見込まれる為、新木場方面のホームの増設とそれに伴う昇降設備の新設などを計画しております。 また、豊洲～住吉間の運行本数については、1時間あたり日中で約8本、朝のピーク時で約12本を想定しております。有楽町線本線への乗り入れ本数は、今後、検討していきます。
・有楽町線が枝分かれになることで、新木場方面の路線の本数が減少することを懸念している。	新木場行きの列車本数は減少を想定しております。具体的な運行本数は未定であり、今後、検討していきます。
・延伸区間の運賃が高くないようにしてほしい。	当社の運賃形態に則って、決定します。

(5) 工事の影響	
◎ ・地下鉄工事のため、陥没等の事故がないよう十分調査のうえ工事してください。	現在、工事の施工方法を検討中ですが、工事着手前にボーリング調査を実施して、現状を把握し、適切な工法を検討・選定した上で、安全に工事を行います。
◎ ・工事中の騒音、振動などが最小限で済むようにお願いしたい。また、完成後の騒音振動が心配である。	工事中の騒音・振動については法令を遵守し、低騒音、低振動の工法、機械を使用するなど、周辺環境に配慮いたします。また、完成後の鉄道振動については、原則、軌道は防振まくらぎを採用し振動を低減いたします。ご理解とご協力のほどお願いいたします。
・工事期間中、道路の通行止めや工事車両の増加が想定されるが、生活環境や区民の安全がしっかりと確保されるようにしてほしい。	工事を実施するにあたり、交通管理者、道路管理者と協議し、路面交通等への影響が最小限となるように努めます。

(6) 災害対策	
◎ ・自然災害がとても心配である。津波や地震に強い地下鉄になってほしい。	阪神・淡路大震災クラスや最大震度7クラスの首都直下地震でもトンネルなどが崩壊しないように、耐震設計を行い、安全性を確保いたします。
◎ ・乗客及び職員の避難を含む地下鉄8号線の浸水安全対策を求める。	台風や大雨による浸水だけでなく、東京都による洪水のハザードマップ等の浸水想定も考慮した総合的な対策を現在進めております。地下鉄8号線でも同様の対策を検討していきます。
(7) 情報発信	
◎ ・地域住民の理解を得るための丁寧な説明と周知を行っていく必要がある。	鉄道工事に関する地元の方々のご意見・ご要望には誠意を持って対応させていただきたいと考えております。なお、工事内容につきましては、工事着手前に開催する工事説明会等で説明させていただきます。
◎ ・進捗状況を共有することを徹底するとともに、町会や自治会等の意見や要望を聴く機会を持つなど、近隣住民の理解を得ながら進めていただきたい。	工事予定の提示や事前周知などを行うとともに、当社と施工会社および地元との定期的な話し合いの場を設けることを予定しており、工事へのご理解とご協力を得られるよう努めます。なお、工事内容につきましては、工事着手前に開催する工事説明会等で説明させていただきます。

◎ ・こどもたちに、工事を見学する機会をつくってほしい。	区民の皆様と連携して事業に取り組んでいきたいと考えておりますので、工事を見学する機会については、工事の進捗等を踏まえて開催させていただく予定です。
・駅出入口の設置場所など、新駅の情報はわかり次第発信するようにしてほしい。	本事業にかかわる情報等について公表できるものは状況に応じて、発信させていただきたいと考えております。

※「◎」は、江東区として特に重要と考える事項。